

○活動のテーマ

絵本から広がった興味・関心

～すくわくプログラム～

絵『ホンソメワケベラ』

○テーマ設定の理由

昨年度より、東京都の行っている「すくわくプログラム推進事業」にとしま みつばち保育園も手を挙げ、子どもたちの興味関心についての取り組みを発信しています。



今年度は、福音館月刊絵本『かがくのとも』を通じて、様々なことについて興味を持ち、そのことについて話し合い、そこで生まれたことを実現していくことで、個々の関心を深めたり、新たな関心の広がりになるようテーマを設定し、取り組みました。

○活動スケジュール

4月号『スーパーじっけんマシン アワサール』（作：unpis）

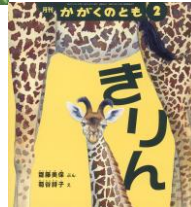
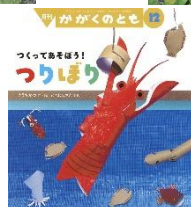
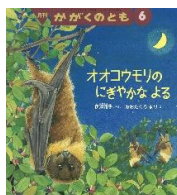
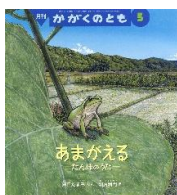
5月号『あまがえる』（文：澤口 たまみ/絵：羽尻 利門）

6月号『オオコウモリのにぎやかなよる』（文：伊澤 雅子/絵：おおたぐろ まり）

9月号『さかなのおそうじやさん』（文・絵：大村 文乃）

12月号『つりぼり』（作・絵：きうち かつ/写真：ときわ まさと）

2月号『きりん』（文：齋藤 美保/絵：菊谷 詩子）



一人ひとり好きなものや興味関心は異なりますが、絵本をきっかけに「こんなことできるんだ!」「こんな生き物がいるんだ!」と新しい発見、新しいものとの出会いがたくさんありました。一つのことについて、みんなで関心を持って考え合うことで、見るだけでなく作ってみたいくなったり、もっと知りたくなって作者や編集者の方に質問をしたりと、探求し深めていくことができました。

特に9月号『さかなのおそうじやさん』は、さくら組で大ヒットし「本物のホンソメワケベラを見たい!」と水族館に実際に見に行ったことをきっかけに、ホンソメワケベラや他の魚の絵を描いてみたり、劇を試してみたり、LaQで海の世界を作ったりと様々な活動へと広がっていきました。